

事務事業評価表(既存事業)

コード 12-3-4	事務事業名 情報教育専門員の配置	所管部課 学校教育部指導課
---------------	---------------------	------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 情報教育専門員を各小・中学校(2校に1人程度)及び教育センター内に配置し学校での授業等をサポートする。 教職員のスキルアップを目的としている。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)学校教育の充実(創2-3) (主要施策)情報教育の推進
	実施内容、実施方法 2校に1人程度の情報専門員の配置 教職員のスキルアップのための研修会開催 学校からの問合せやトラブル対応のための情報専門員の配置	根拠法令等
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )

評価指標の設定	活動指標名 職員のスキルアップ事業実施数	活動指標の考え方(定義) 教職員のスキルアップのため、研修会等を開催した回数
	成果指標名 研修受講者数	成果指標の考え方(定義) 教職員が研修に参加した人数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		0	17,439	18,284	18,284
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		0	17,439	18,284	18,284
	所要人員(B)	人		13	13	13
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	107,549	108,264	108,264
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	124,988	126,548	126,548
	単位当たりコスト (E)=(D)/(講座受講人数)	千円	0	1,249.88	234.35	
歳入	千円					
活動指標	目標値	回			70	70
	実績値	回		50	70	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	人			400	400
	実績値	人		100	540	
成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	受講者からは内容の充実を希望している。
	国・都・他市・民間等 における類似事業	特になし
	運営上の制約条件・ 外部要因等	特になし

コード 12-3-4	事務事業名 情報教育専門員の配置	所管部課 学校教育部指導課
---------------	---------------------	------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	スキルアップ研修・センターの運用共に計画どおり順調に進んだ。ほぼ教職員全員が操作研修を受講し、効率のよい事務処理、授業での有効活用等、利用拡大している。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input checked="" type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	情報専門員の配置により教育情報における学校現場での一定程度のスキルアップができてきている。今後は、一部見直しを含め、更なる向上を図りたい。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	情報専門員の効果的な配置により、授業のサポート等が行われた。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	今後の内容の充実、一層のスキルアップが必要。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一定程度の基本部分の向上ができてきている。今後は年間を通じた授業内容も検討する必要がある。

17年度における改善点	17年度で配置校の見直し、学校の授業との連携がスムーズに行くよう学校側の年間指導計画との調整を行う。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。